

# 米タンパク質組成分析報告書

有限会社 花咲農園 殿

財団法人 新潟県環境衛生研究所  
 先端技術センター  
 新潟県新潟市南谷内333番地1  
 TEL 0256-91-4114 FAX 0256-91-4118

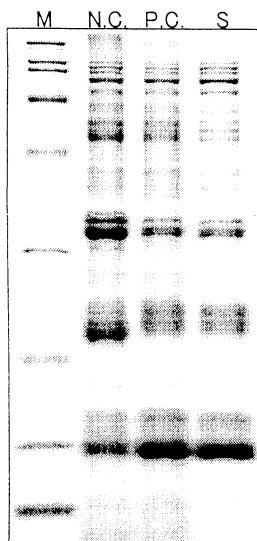
試験責任者 石丸聖司

ご依頼の検体について、SDS-PAGE法による分析結果を以下の通りご報告致します。

検体名 17年産 春陽  
 生産者 今野 久一  
 報告日 平成17年12月15日 (平成17年12月7日受領)  
 分析者 (財)新潟県環境衛生研究所 先端技術センター

		17年産 春陽	P.C. 〔春陽(比)〕	N.C. 〔コシヒカリ(比)〕
易消化性タンパク質	76kDa以上前駆体	4.8	3.8	3.7
	57kDa前駆体	2.5	4.9	9.0
	37-39kDa グルテリン $\alpha$	13.6	13.7	29.4
	26kDaグロブリン	12.6	11.8	7.0
	22-23kDa グルテリン $\beta$	15.9	14.4	25.1
難消化性タンパク質	16kDa	13.4	12.8	7.2
	13kDa プロラミン	37.3	38.6	18.6

結果値は総タンパク量に占める割合(%)を示す



M: 分子量マーカー  
 N.C.: コシヒカリ(比)  
 P.C.: 春陽(比)  
 S: 17年産 春陽

## 注意事項

- ・分析結果は分析を行った検体についてのみ保証するものであり、当該検体の母集団を保証または認証するものではありません。
- ・検体名及び生産者名は、分析依頼者の指定によるものです。
- ・当試験は、Laemmliの方法(Nature 1970, 227(259), 680-5)に従ってSDS-ポリアクリルアミドゲル電気泳動を実施したものです。15%ゲルを用いて分子量マーカー(Molecular Weight Standards Broad Range, Bio-Rad)とともに泳動し、泳動像をPC上で定量解析して成分組成比を算出します。
- ・結果値は複数点並行で実施して得られた分析値を平均し小数点第一位まで示したものです。比較対照として併記したP.C.ならびにN.C.の結果値は、それぞれの標準玄米を検体と同一の条件下において分析し得られた結果です。